

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	こどもリハビリテーション支援専攻科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児神経生理学特論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	こどもリハビリテーション支援専攻科	学期	後期	教室名	1003教室
担 当 教 員	高田 寛彬				
実務経験と その関連資格	【実務経験】 理学療法士として8年間、急性期病院に勤務。 児童発達支援・放課後等デイサービスへの療育支援、児童養護施設へ職員への講義、教育活動とともに子どもの支援に関わる。また、早期療育への取り組みと小児科医と連携し実施。 【関連資格】 認定理学療法士(運動器)、修士号(健康科学)取得。 両立支援コーディネーター取得し、企業の健康経営、心身活動の支援を実施。				
《授業科目における学習内容》					
小児の神経生理学について学び、臨床での活用方法について検討することができる。					
《成績評価の方法と基準》					
レポート 80% 出席20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
配布資料					
《授業外における学習方法》					
解剖・運動・生理学の基礎を理解することがとても重要です。基礎科目の復習をしておきましょう。					
《履修に当たっての留意点》					
言葉が難しいことも多いですが、一つ一つを理解し取り組みましょう。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	小児の心身機能について理解することができる。	配布資料	授業資料を基に復習を行う	
	各コマにおける授業予定	人間発達①			
第2回	授業を通じての到達目標	小児の心身機能について理解することができる。	配布資料	授業資料を基に復習を行う	
	各コマにおける授業予定	人間発達②			
第3回	授業を通じての到達目標	小児の心身機能について理解することができる。	配布資料	授業資料を基に復習を行う	
	各コマにおける授業予定	人間発達③			
第4回	授業を通じての到達目標	小児の心身機能について理解することができる。	配布資料	授業資料を基に復習を行う	
	各コマにおける授業予定	人間発達④			
第5回	授業を通じての到達目標	小児の心身機能について理解することができる。	配布資料	授業資料を基に復習を行う	
	各コマにおける授業予定	人間発達⑤			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	理学療法士・作業療法士・視能訓練士の専門性から小児評価・アセスメントを実践することができる。	配布資料	授業資料を基に復習を行う
	各コマにおける授業予定	専門性に分かれてディスカッションできる。		
第 7 回	授業を通じての到達目標	理学療法士・作業療法士・視能訓練士の専門性から小児評価・アセスメントを実践することができる。	配布資料	授業資料を基に復習を行う
	各コマにおける授業予定	専門性に分かれてディスカッションできる。		
第 8 回	授業を通じての到達目標	理学療法士・作業療法士・視能訓練士の専門性から小児評価・アセスメントを実践することができる。	配布資料	授業資料を基に復習を行う
	各コマにおける授業予定	専門性に分かれてディスカッションできる。		
第 9 回	授業を通じての到達目標	理学療法士・作業療法士・視能訓練士の専門性から小児評価・アセスメントを実践することができる。	配布資料	授業資料を基に復習を行う
	各コマにおける授業予定	専門性に分かれてディスカッションできる。		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	理学療法士・作業療法士・視能訓練士の専門性から小児評価・アセスメントを実践することができる。	配布資料	授業資料を基に復習を行う
	各コマにおける授業予定	専門性に分かれてディスカッションできる。		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	理学療法士・作業療法士・視能訓練士の専門性から小児評価・アセスメントを実践することができる。	配布資料	授業資料を基に復習を行う
	各コマにおける授業予定	専門性に分かれてディスカッションできる。		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	理学療法士・作業療法士・視能訓練士の専門性から小児評価・アセスメントを実践することができる。	配布資料	授業資料を基に復習を行う
	各コマにおける授業予定	専門性に分かれてディスカッションできる。		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	理学療法士・作業療法士・視能訓練士の専門性から小児評価・アセスメントを実践することができる。	配布資料	授業資料を基に復習を行う
	各コマにおける授業予定	専門性に分かれてディスカッションできる。		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	理学療法士・作業療法士・視能訓練士の専門性から小児評価・アセスメントを実践することができる。	配布資料	授業資料を基に復習を行う
	各コマにおける授業予定	専門性に分かれてディスカッションできる。		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	理学療法士・作業療法士・視能訓練士の専門性から小児評価・アセスメントを実践することができる。	配布資料	授業資料を基に復習を行う
	各コマにおける授業予定	専門性に分かれてディスカッションできる。		